

座右の銘は「共生(ともいき)」。人の為に尽くして守られた人生に感謝

大阪(ゆづゆの里)

中尾 治(81歳) 令和元年8月 一人入居

人のご縁によって事業が成功

最初は従弟の運送会社に就職。そこでのいろいろな方々との良い出会いがあり独立することになりました。株式会社ホーシンという金属加工会社を設立して40年。事業所は本社を含めて9か所になりました。今は息子に会社を譲り会長職をしておりますが、今も里から職場に通っています。

独立までのいきさつですか。そ

の運送会社が事業の多角化をする

ことになり、私が新規事業を担当した時のことです。運送業のお客様から「物を運ぶだけでなく、造ってから運ぶのか?」「鉄筋を加工しないか?」などのご相談やアドバイス・ご支援を頂き、プレスや鉄筋加工業の事業化をすることができました。思えば人のご縁が繋がり、仕事が広がった結果と言えます。その後新事業を分離することになり、自分の会社の設立となりました。バブルやリーマンショックも経験しましたが会社は順調に成長しました。時代が変われば商品も変わります。同じことをしていたら続かないです。色々チャレンジしたから事業の多角化が功を奏しました。座右の銘は「共生(ともいき)」。人の為に尽くすことが我が身を守る力なりという意味です。

最愛の妻を亡くして

平成26年に家内が白血病で2か月入院しました。退院しても一



週間に一回病院に行かなければなりません。そうするうちに私が前立腺がんになり、治療の為新幹線で兵庫の相生まで通わなければならなくなったのです。当時治療ができる病院は日本に4か所しかありませんでした。それでも仕事も家のこともして家内の世話もしました。気晴らしに家内と一緒に国内旅行や海外旅行にも出かけました。大阪城公園の梅や桜を見ながら家内と手をつないで散歩したことも忘れられません。

家内は発症から3年、余命6か月と宣告されて半年後、病院受診から帰ってソファで眠るように亡くなりました。一人になって食事だけ3日に一回作ってくれる人をお願いしましたが、口に合わず一か月でやめてもらいました。ひとりぼっちになった友人が、介護専用のホームに入ってどんどん悪くなるのを見て、自分は自立入居型のホームに入ろうと思いました。

ここは何でも自由にできるのが良い。会社にも、娘の家にも近いです。

遺品の整理や引越準備は大変でしたが、家内と旅行に行って購入した絵画や記念品は持ってきて部屋に飾っています。家内が凝っていて集めた大事な思い出の品です。

これからは趣味を増やしたい

食事は朝と夕に食堂を利用しているのでも楽です。その上これからのことも安心して暮らせるのが何よりです。たまに娘が掃除に来てくれるので助かっています。今は仕事とゴルフが趣味のよいうなものです。近いうちに代表権も譲り相談役か顧問となるつもりです。これからは拘束のない自由な時間を大切にして、趣味を増やして余生を楽しめるようになりたいと思っています。今考えているのは山登りと写真。その写真データを編集するため、現在パソコン教室で勉強中です。

ゴルフは一週間に一回のペースです。足腰を鍛えるためにトレーナーに指導を受けながらジムでもトレーニングをしています。いつまでも続けたいです。それに、体を鍛えて、まだまだいろいろなところに行ってみたいです。



ありし日の奥様と旅先で